

市民と市長の 地域みらい懇談会

【伊王島地区】

要望・提案と回答

令和2年7月26日（日）

伊王島開発総合センター

市民と市長の地域みらい懇談会【伊王島地区】

要望・提案一覧

令和2年7月26日（日）開催

※番号1～6は、当日発表

要望・提案項目		団体名	担当課	ページ
1	馬込港について (道路・駐車場・公園の整備)	馬込自治会	土木部 土木企画課 ・ 水産農林部 水産振興課	1
2-①	伊王島国民健康保険診療所横の旧ゲート ボール場について	仲塩町自治会	市民健康部 地域保健課	2
2-②	公共施設の活用について	NPO法人ふるさと	理財部 資産経営室	3
2-③	市有財産の売却について	伊王島中学校区育成協	理財部 財産活用課	4～5
2-④	遊休地の活用について	アイランドナガサキ	理財部 資産経営室	6
3	伊王島港内へのテトラポットの設置につ いて	船津自治会	まちづくり部 都市計画課	7
4	伊王島循環線の早期着工について	大明寺自治会	南総合事務所 地域整備課	8～9
5	伊王島灯台公園駐車場の整備について	大明寺自治会	土木部 土木企画課	10～11
6	伊王島港の駐車場整備について	馬込婦人会 ・ NPO法人長崎 アイランズアクト ・ 伊王島中学校区育成協	まちづくり部 都市計画課	12

要望・提案項目		団体名	担当課	ページ
7	空き家及び空き地対策について 空き家の管理について	大明寺自治会 ・ 馬込婦人会	建築部 建築指導課 ・ 理財部 財産活用課 ・ 南総合事務所 地域整備課	13~16
8	車の速度制限について	馬込婦人会 ・ 大明寺婦人会	南総合事務所 地域整備課	17
9	イノシシによる被害について	船津婦人会	水産農林部 農林振興課	18~19
10	既存の市営住宅や建造物の活用について	NPO法人ふるさと	建築部 住宅課	20~21
11	「ふるさと」に選ばれる地域になるための 施策について	NPO法人ふるさと	企画財政部 地域コミュニティ推進室	22~23
12	丘町地区の下水道について	伊王島中学校区育成協	上下水道局 事業管理課 ・ 環境部 環境政策課	24
13	公道での自転車利用について	アイランドナガサキ	土木部 土木企画課	25~26

回答票

伊王島
地区

【担当部課名】

土木部 土木企画課
水産農林部 水産振興課

要望内容

【団体名】 馬込自治会

【件名】 馬込港について 道路・駐車場・公園の整備

【概要】 馬込港（沖ノ島漁港）を有効活用するべく港の一部を埋め立てた後、新しい道路を建設し、隣接して駐車場・公園を整備してほしい。

【回答内容】

1 可能 2 一部可能 ③ 不可能 4 調査検討
5 斡旋 6 その他（ ）

馬込港（長崎市管理の沖ノ島漁港）は、平成10年以前の伊王島町時代、馬込自治会の強いご要望により、伊王島大橋架橋に併せ、漁港内を埋め立て、岸壁、荷捌き場などの漁港施設と公園、道路を整備することについて検討されましたが、実現に至らなかったと聞き及んでいます。

しかしながら、漁業者が減少し、漁船も少なくなった今では、漁港整備の必要性は低く、ご要望の馬込港を埋め立てての漁港の再整備は、現状において実現困難と考えています。

次に、馬込港を埋め立てて、道路、公園を新しく整備することにつきましては、その整備に多大な費用を要することから、現状においては難しいものと考えています。

なお、既存の市道において、観光客や釣り客による路上駐車や、スピードの出し過ぎなど、地区の方が不安に感じられていることにつきましては、交通管理者である県警や道路管理者などで調整を図りながら、速度規制などの効果的な交通安全対策について、検討してまいりたいと考えています。

回答票

伊王島
地区

【担当部課名】 市民健康部 地域保健課

要望内容

【団体名】 仲塩町自治会

【件名】 伊王島国民健康保険診療所横の旧ゲートボール場について

【概要】 診療所に来られる方々の駐車場がないため、車で来る患者が多い時には周辺道路に駐車する状況である。このため、活用されていない診療所横の旧ゲートボール場を診療所の駐車場として整備できないか。

【回答内容】

1 可能

2 一部可能

3 不可能

④ 調査検討

5 斡旋

6 その他 ()

伊王島診療所の駐車場については、診療所の患者用として、敷地の道路側に約5台分の駐車場を確保していますが、月曜日の午前中や週1回金曜日の歯科診療日など患者が集中する時間帯には、駐車場台数に不足が生じる場合もあると伺っています。

改めて、駐車場の利用実態を調査し、不足の状況がある場合には、利用者の利便性を踏まえ、解消策について検討したいと思います。

回答票

伊王島
地区

【担当部課名】

理財部 資産経営室

要望内容

【団体名】 NPO法人ふるさと

【件名】 公共施設の活用について

【概要】 「市民対話」で紹介する公共施設は、どのような基準で選んでいるのか。
また、旧伊王島生活支援ハウスの活用ができないか。

【回答内容】

- 1 可能 2 一部可能 3 不可能 ④ 調査検討
5 斡旋 6 その他（ ）

「公共施設の将来のあり方を考える市民対話」では、地域の皆さまより貴重なご意見やアイデアをいただき、誠にありがとうございました。

市民対話の対象とする公共施設は、地域の皆さまが利用されているか否かにかかわらず、その地区にあるすべての公共施設を対象としており、廃止した旧伊王島生活支援ハウスにつきましても、平成30年12月13日（木）に開催した第2回市民対話で紹介させていただき、売却等を含めたご意見をいただきました。

旧伊王島生活支援ハウスは行政目的での活用の予定がない状況であるため、市民対話でのご意見を受け、今後は民間での活用による地域振興の視点も考慮しながら、検討することとしております。

回答票

伊王島
地区

【担当部課名】

理財部 財産活用課

要望内容	【団体名】 伊王島中学校区育成協
	【件名】 市有財産の売却について
	<p>【概要】</p> <p>① 伊王島の人口増加や産業の振興による地域活性化を考えるうえで、伊王島町内にある未利用資産をどうするかが課題である。現在、廃墟になった建物や使用されていない建物、荒廃地になっている市有地を、条件を付けて売却し、伊王島の活性化をお願いしたい。</p> <p>② 売却できないなら草刈り等適正に管理してほしい。市が管理できないのなら、自治会等に委託できないか。</p> <p>③ 市として未利用地がどれくらいあるのか把握しているのか。</p>
【回答内容】	
<p>1 可能 2 一部可能 3 不可能 ④ 調査検討</p> <p>5 斡旋 6 その他（ ）</p>	
<p>① 市有地の売却につきましては、長崎市有地の処分にかかる基本方針として、市有地を自治体運営の経営資源ととらえ、活用予定がない市有地については積極的な売却を行っております。</p> <p>具体的には、立地条件、形状、面積、接道状況等を鑑み、現況で売れそうな物件から優先的に売却に向けて公募等を行っておりますが、すぐには売却ができないと判断された市有地についても一時貸付などにより有効活用を図っております。</p> <p>なお、売却にあたっては、原則、一般競争入札（郵便入札）を行っており、必要性に応じ、条件を付けた売却も実施しております。（やすらぎ伊王島を条件付きで売却）</p> <p>② 市有地の管理につきましては、必要に応じて長崎市が除草等管理に努めているところですが、常時管理が必要な場所など、長崎市の直接的な管理が難しい場所につきましては、各自治会に相談させていただきます。</p>	

③ 伊王島町の未利用資産につきましては、土地が16箇所、15,419.35㎡、建物が4棟、延床面積1,485.78㎡あります。

回答票

伊王島
地区

【担当部課名】

理財部 資産経営室

要望内容

【団体名】 アイランドナガサキ

【件名】 遊休地の活用について

地方創生、地域貢献のために島内の遊休地を活用させていただきたい。

【概要】 ①ふれあい広場砂利側駐車場 ②旧伊王島セントロ・クートラル
③旧伊王島生活支援ハウス ④伊王島ゲートボール場（診療所横）

【回答内容】

1 可 能 2 一部可能 3 不 可 能 ④ 調査検討

5 幹 旋 6 その他（ ）

人口減少社会を迎えているなか、長崎市では公共施設の見直しを進めています。伊王島地区においては、平成30年11月より3回にわたった「公共施設の将来のあり方を考える市民対話」により、地域の皆さまから貴重なご意見やアイデアをいただきました。いただいたご意見やアイデア等を参考に、伊王島地区の公共施設の将来のあり方を示した「地区別計画（案）」を策定しましたので、施設の方向性について、今後、地域の皆さまにお示しする機会を設けたいと考えております。

また、施設の統廃合などで生じた空き施設につきましては、まずは行政目的での活用の検討を行い、行政目的での活用が図れないときは、民間での活用による地域振興の視点も考慮しながら、売却を基本とした対応を行いたいと考えております。

回答票

伊王島
地区

【担当部課名】 まちづくり部 都市計画課

要望内容

【団体名】 船津自治会

【件名】 伊王島港内へのテトラポッドの設置について

【概要】 竜宮神社への波の打ち寄せが大きいため、栄橋下のミナトホテル（アイランドナガサキ）側にテトラポッドを設置してほしい。

【回答内容】

- 1 可 能 2 一部可能 ③ 不 可 能 4 調査検討
5 幹 旋 6 その他（ ）

栄橋下のミナトホテル付近は港湾区域となりますので、管理者である県に確認したところ、当該区域の護岸整備等は既に完了していること、また、要望の位置にテトラポッドを設置した場合、河川の流下能力を阻害し、かえって水害の危険性を助長する恐れがあることから、設置は困難との考えが示されておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

回答票

伊王島
地区

【担当部課名】 南総合事務所 地域整備課

要望内容

【団体名】 大明寺自治会

【件名】 伊王島循環線の早期着工について

【概要】 伊王島循環線の早期着工及びルート変更について

【回答内容】

- 1 可能 2 一部可能 3 不可能 ④ 調査検討
5 斡旋 6 その他（ ）

伊王島循環線の道路整備につきましては、一般県道伊王島循環線と接続する島内一周の循環路線として、防災はもとより観光事業にも多大に寄与する重要な基幹道路として、延長 1,070m、幅員 5.0m の道路を平成 16 年度より整備しているところでございます。

現在、本線から大明寺地区集会所付近までの取付道路を含む整備箇所付近について、計画道路に隣接する土地の所有者から協力的な話がいただけたことから、今年度、道路勾配について設計の見直しを行い、来年度の完成に向けて事業を進めております。

なお、大明寺地区の用地買収の状況としまして、相続問題や金銭面などにより用地交渉が難航しており、30 筆中 6 筆（18 名中 2 名）が買収済みで、用地の進捗に合わせて工事を実施しているところですが、進捗が図れていない状況にあります。

また、大明寺地区北部の終点側につきましては、地権者との用地交渉が難航したことから、大明寺地区を優先して施工している経緯があり、相当の期

間が経過していることから、再度、現計画での整備ができないか相続関係などの状況も含めて交渉を行ってまいります。

ご要望いただきました市有地を活用した道路線形の見直しにつきましては、並行して調査測量などを行い、可能かどうか今後検討してまいりたいと考えております。

なお、用地買収につきましては、今後も粘り強く交渉を行ってまいりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

回答票

伊王島
地区

【担当部課名】

土木部 土木企画課

要望内容

【団体名】 大明寺自治会

【件名】 伊王島灯台公園駐車場の整備について

【概要】

伊王島灯台は、我が国では初めて英国から輸入した鉄造灯台で、旧吏員退急所（灯台守りの宿舎）及び附属便所棟は長崎県指定有形文化財となっており、伊王島島民のシンボリック的存在である。

伊王島大橋の架橋や「岬カフェ」のオープンも相俟って、多くの観光客が自動車で訪れるようになったが、灯台公園には駐車場が無く、また、混乱を招く道路標示もあり、迷走する車両を目にする。

については、現在の公園の手前にある転回場を駐車場として整備していただきたい。

【回答内容】

- 1 可 能 2 一部可能 3 不 可 能 ④ 調査検討
5 幹 旋 6 その他（ ）

伊王島灯台公園は、伊王島の最北端に位置し、公園内には日本初の鉄造灯台や長崎県有形文化財に指定された伊王島灯台記念館、美しい海岸のパノラマ風景を楽しむことができる展望台などがあり、市民をはじめ多くの観光客が訪れる場所となっています。

平成23年3月に伊王島大橋が開通し、多くの観光客が車で訪れるようになりましたが、島内には幅員が狭い道路が多く、そこに多くの車が入り込むことによる交通事故の発生、周辺住民の生活環境や交通環境の悪化などが懸念されたため、車で来島された方は駐車場に車を止め、そこから徒歩や自転車などにより島内を巡ってもらう、いわゆる「パーク&ウォーク」や「パーク&サイクル」を交通対策の1つとして、これまで、ふれあい広場駐車場の整備や道路上への看板設置などを行ってまいりました。

伊王島灯台公園につきましても、このような考えに基づき、車での来園を控えていただくため、駐車場は設けず車の転回場のみを確保し現在に至って

います。

このような中、伊王島大橋開通後約 10 年が経過し、転回場に駐車している実態が見受けられますが、一方で、当時から道路の状況は変わっていません。

また、アイランドナガサキにおかれましては、340 台の貸自転車を持し、多くの方々にご利用いただいているとお聞きしています。

そのため、駐車場の整備につきましては、公園利用者の利便性向上と地域の交通安全確保の両面から考えていく必要がある中、今回、地域の皆様のご要望もお受けしましたので、再度、警察や道路管理者などの関係者と協議してまいりたいと考えています。

回 答 票	伊王島 地 区	【担当部課名】 まちづくり部 都市計画課
--------------	--------------------	--------------------------------

要 望 内 容	<p>馬込婦人会</p> <hr/> <p>【団体名】 NPO 法人長崎アイランズアクト</p> <hr/> <p>伊王島中学校区育成協</p>
	<p>【件 名】 伊王島港の駐車場整備について</p>
	<p>（馬込婦人会） 高齢者が多く、買い物や通院のため、船を利用するが、どの時間帯に行ってもスペースを探すのに苦労しているため、船着場に島民のための駐車場を設置してほしい。</p>
	<p>（NPO 法人長崎アイランズアクト） 現在無法地帯となっている港の前にある駐車場を有料駐車場にしてほしい。地元島民だけは無料で使用できるように管理も地元団体への委託を希望する。</p>
	<p>（伊王島中学校区育成協） 以前より伊王島港の駐車場問題については要望していたが、季節によっては高島行き航路利用者が駐車できない状況にあり、違法駐車が発生しているので、再度、有料駐車場として整備して規制できないか県への要望を検討していただきたい。</p>

【回答内容】					
1 可	能	2 一	部可能	3 不	可 能
		④	調査検討		
5 幹	旋	6 其	他 ()		

伊王島港ターミナルに隣接する駐車施設の敷地は、県が港湾施設の「野積み場」として整備したものを、平成 26 年度に長崎市が県の許可を得て駐車場として供用開始したものです。

県からは、野積み場としての本来の機能を阻害しないことを許可条件としていることから有料化は困難との考えが示されていますので、今後は、島民の皆様が優先的に利用できるよう、例えば、島民優先のエリアを設定するなど運用面での対策を検討してまいります。

回答票

伊王島
地区

【担当部課名】

建築部 建築指導課
理財部 財産活用課
南総合事務所 地域整備課

要望内容

【団体名】 大明寺自治会

馬込婦人会

【件名】 空き家及び空き地対策について（大明寺自治会）
空き家の管理について（馬込婦人会）

【概要】
 （大明寺自治会）
 長崎市空き家等対策計画において対策を講じているものと推察しているが、伊王島地区では、空き家がさらに増えていくことが懸念される。早い時期での住民への聞き取り調査や、パトロールを強化するなどして対策を講じていただきたい。
 また、遊休市有地を官公庁オークションなどで、売却していただきたい。

（馬込婦人会）
 犯罪抑制のための公道・私道の草刈、及び空き家の管理を行ってほしい。

【回答内容】

1 可 能 ② 一部可能 3 不 可 能 4 調 査 検 討
 5 幹 旋 6 その他（ ）

【空き家対策】

空き家対策につきましては、ご要望にもありますように平成 29 年 1 月に長崎市空き家等対策計画を定め、瓦が落ちたり、外壁が剥落する等、保安上周辺へ重大な影響を及ぼす恐れのある空き家、いわゆる特定空家等に「しない」「なくす」を基本方針として取り組んでいます。

【空き家の現状】

市民の皆様からの相談により長崎市が把握している特定空家等につきましては、別紙のとおり平成 29 年度末に約 990 件でしたが、令和元年度末には約 1,280 件と 2 年間で 300 件近く増加しており、そのうち、解体等に至っていない未解決の件数も平成 29 年度末の約 370 件から令和元年度末の約 560 件と 2 年間で約 200 件増加しています。

伊王島地区につきましては、これまで地域の皆様からご相談をいただいた 6 件の特定空家等を把握しており、所有者調査・指導を行っているところです。

【空き家の管理・指導】

長年管理されていない空き家であっても個人の財産であるため、所有者の責任のもとに維持管理や除却を行うことが原則であり、市としては、所有者等を調査し、指導等を行っております。

近隣の空き家が放置され、困っている方がいらっしゃいましたら建築指導課へご相談ください。なお、空き家への不法侵入など犯罪につながるような事案につきましては、警察の方へもご相談をいただければと思います。

【空き家に対する市の支援策】

老朽化し危険な空き家の対策としては、所有者自らが解体を行う場合に除却工事費の一部を補助する制度（老朽危険空き家除却費補助金）や土地・建物を市に寄附し、市が除却及び跡地整備を行い、地元自治会が跡地管理を行う事業（老朽危険空き家対策事業）を実施しています。特に、老朽危険空き家対策事業については、今年度から対象区域を拡大し、伊王島地区も対象になりました。

また、活用可能な空き家は、空き家情報バンク制度等を紹介し、空き家の利活用も推進していきます。

さらに、所有者が亡くなり空き家になる前に、所有者やご家族などで家の^{しま}終い方について考えることは重要と考え、毎年1回司法書士会と共催しております「住まいの終活フェア」や空き家に関する出前講座を開催しておりますので、ご利用していただければと思います。

【空き家のパトロール】

パトロール等の強化につきましては、地域センターとも連携しながら、現在把握している特定空家等の経過観察を行うとともに、地域の皆様のご協力もいただきながら新たな特定空家等の把握に努め、また、所有者等の調査では、近隣にお住まいの皆様の情報も有力な手がかりとなりますので、情報提供等のご協力をいただき、空き家対策に取り組んで参ります。

【遊休市有地の売却】

遊休市有地の売却につきましては、長崎市有地の処分にかかる基本方針として、市有地を自治体運営の経営資源ととらえ、活用予定がない遊休地をまちづくりの観点を踏まえた売却を行っています。

具体的には、立地条件、形状、面積、接道状況等を鑑み、現況で売れそうな物件から優先的に売却に向けて公募等を行っているが、すぐには売却ができないと判断された市有地についても一時貸付などにより有効活用を図っております。

売却にあたっては、原則、一般競争入札（郵便入札）により売却しており、物件によっては、官公庁オークションシステムを利用し、インターネットを通じた募集も実施しております。（令和元年度は、旧東京事務所職員宿舎を募集）

入札にあたっては、公告（市役所前掲示板への掲出）、広報ながさき（ニュース宅配便）、長崎市ホームページ（新着情報）、テレビ、ラジオ、現地に売却予定地である旨の看板を設置するなど、市民への周知を行っております。

【公道・私道の草刈】

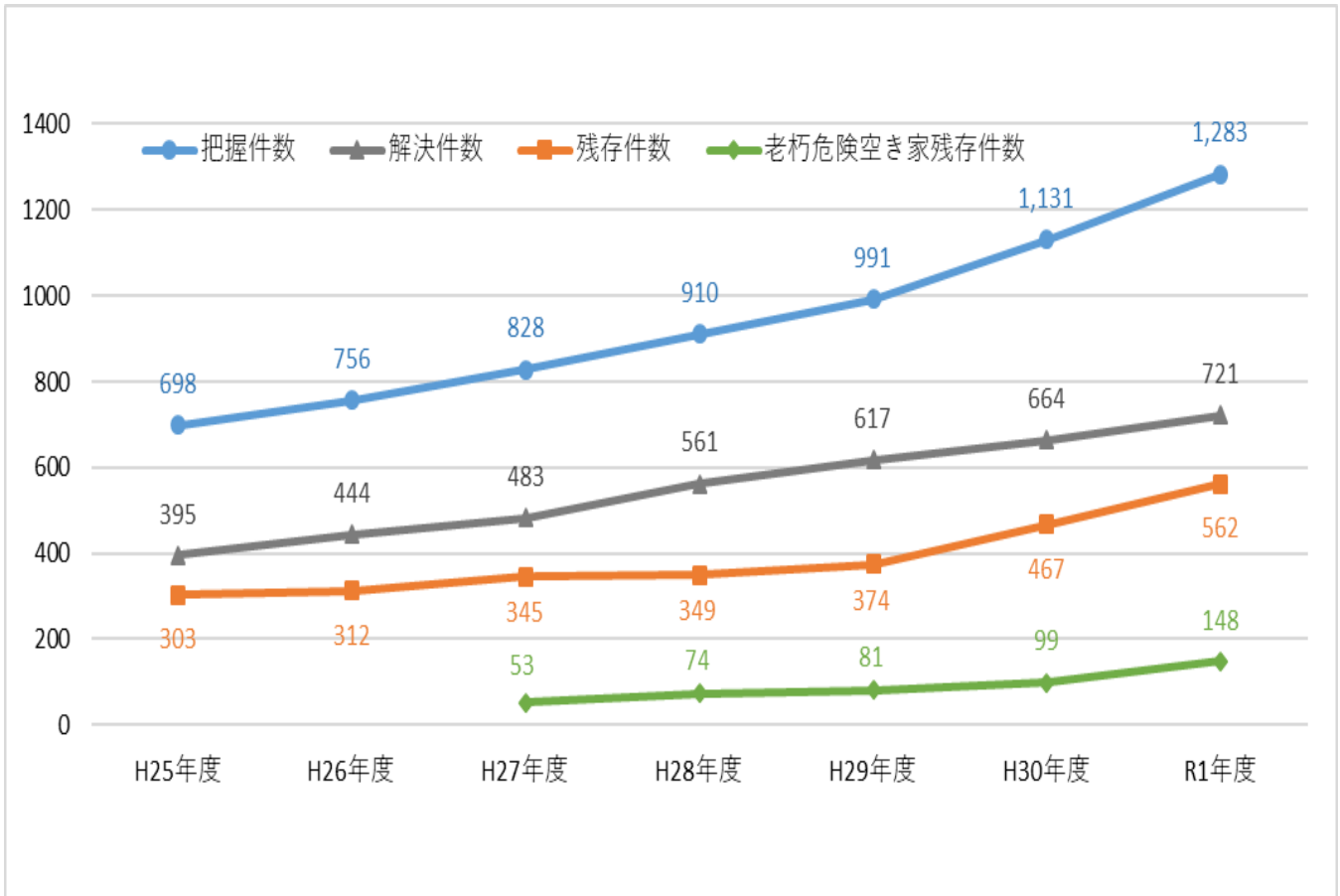
伊王島島内は、長崎県が管理する県道伊王島線、長崎市が管理する市道、里道等があります。

現在、長崎市が管理する道路の草刈りは、直営での草刈り等をおこなっており、通行に支障な箇所、美観に影響を及ぼす箇所については早急に対応を行います。

また、県管理の道路においては、県の担当となりますので、連携を図ってまいります。

なお、私道につきましては、それぞれの所有者などが管理をおこなっていくこととなりますので、ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

長崎市の特定空家等の推移



回答票

伊王島
地区

【担当部課名】

南総合事務所 地域整備課

要望内容

【団体名】

馬込婦人会
大明寺婦人会

【件名】

車の速度制限について

【概要】

伊王島大橋からの車のスピードが速い。(50キロ規制はありえない)道路に沿って民家があり、高齢者も多いため、危険であるため、速度制限を行ってほしい。

伊王島内の速度規制と道路標識の設置をお願いしたい。

【回答内容】

1 可能

2 一部可能

3 不可能

④ 調査検討

5 斡旋

6 その他 ()

伊王島島内の速度制限については、伊王島大橋が時速50km、伊王島大橋を渡ったところから伊王島ターミナルまでが速度制限は行われておらず、伊王島ターミナルから学校までの区間が時速40kmとなっております。

なお、道路の速度制限については、交通管理者である警察と公安委員会で定められますので、市より県警へお伝えするとともに、連携し地元からの要望も行っていただければと考えております。

また、標識の設置などについては、周辺状況に合わせた速度での安全運転を行っていただけるように、速度注意の路面標示などの検討を行ってまいりますので、路面標示や標識の設置を行うにあたりましては、効果的で適切な場所での注意喚起を行うため、地元の皆様や警察署などとの立会いを含めて検討を進めてまいりたいと考えております。

回答票

伊王島
地区

【担当部課名】

水産農林部 農林振興課

要望内容

【団体名】 船津婦人会

【件名】 イノシシによる被害について

【概要】 イノシシによる被害で畑を荒らされて、グリーンピースも全滅した。駆除対策をしてほしい。

【回答内容】

- 1 可能 2 一部可能 3 不可能 ④ 調査検討
5 斡旋 6 その他（ ）

長崎市では、有害鳥獣対策全般につきまして、「防護」、「棲み分け」、「捕獲」の3つの対策を基本に、猟友会やJA、長崎県、長崎市等の関係団体で組織された「長崎市有害鳥獣対策協議会」や、被害相談対応や被害対策のコンサルティングを効果的に実施するために、長崎市が委託した専門業者との連携を図りながら、対策を実施しているところです。

伊王島地区の「防護」対策としましては、市独自の取り組みとして、小規模農地における農作物被害や市街地周辺の生活環境被害を防止するために、令和元年度に個人の農業者や自治会等へワイヤーメッシュ柵、約300mを貸与しているところです。

「捕獲」対策は、長崎市有害鳥獣対策協議会による計画的な捕獲や捕獲隊の結成の推進により、捕獲体制が強化され、令和元年度の長崎市全体のイノシシの捕獲頭数は3,809頭で、過去最高の捕獲実績となっております。伊王島地区では、地域の皆さまによって結成された捕獲隊の取組みなどにより令和元年度は、46頭捕獲しており、捕獲頭数は年々、増加している状況である

ことから、地域の皆さまの取組みに大変感謝申し上げます。

また、生活環境被害に対する対策への取り組みにつきましては、市街地周辺でのイノシシ出没による生活環境被害の相談が増えており、人口減少や高齢化が進む中、防護柵の設置や捕獲作業にかかる労力に課題もあることから、今後、生活環境被害対策を進めていくための被害状況の整理やその被害に応じた課題の抽出、対策の検討を行うこととしております。

船津地区のイノシシ被害につきましては、現在、伊王島地区捕獲隊において、被害場所の周辺に箱わなを設置し、捕獲の対応を進めているところです。

また、今後は、長崎市有害鳥獣対策協議会の地区の相談員と連携した対応も行っていきたいと考えています。

長崎市としましては、イノシシによる農作物被害及び生活環境被害対策は、喫緊の課題でありますので、今後とも、地域、関係機関などと連携して、市民の安全安心の確保に努めてまいりたいと思います。

回答票

伊王島
地区

【担当部課名】

建築部 住宅課

要望内容	【団体名】	NPO法人 ふるさと		
	【件名】	既存の市営住宅や建造物の活用について		
	【概要】	<p>「スマートウェルネス住宅」の考え方を基本として、既存の市営住宅や空き家等を活用した事例が全国である。多様な世代・構成の人々が地域で住みやすいように環境を整え、人口の流出防止、人口の流入増進、人材の確保を目指すものである。長崎市でこのような実践を行うような予定や計画はあるか。現時点で計画等がなければ実施を検討いただき、伊王島においてのその可能性についてお示しいただきたい。</p> <p>(聞き取りによる補足：市営住宅から高齢者介護施設への中間に位置するような住宅の整備は考えられないか。)</p>		
【回答内容】				
<p>1 可能 2 一部可能 3 不可能 ④ 調査検討</p> <p>5 斡旋 6 その他 ()</p>				
<p>「スマートウェルネス住宅」とは、高齢者、障害者、子育て世帯等の多様な世帯が安心して健康に暮らすことができる住宅のことで、民間が行うサービス付き高齢者向け住宅やセーフティネット住宅の整備・改修に対して国が補助金を交付し、支援しています。</p> <p>サービス付き高齢者向け住宅は、介護・医療と連携し、高齢者の安心を支えるサービスを提供する、バリアフリー構造の住宅であり、現在、市内で23住宅844戸の登録があります。</p> <p>また、セーフティネット住宅は、低所得者、高齢者、障害者、子育て世帯、外国人など、特に住宅の確保に配慮が必要な、いわゆる住宅確保要配慮者に対し入居を拒まない住宅であり、現在、28戸の登録があります。</p> <p>伊王島地区における住宅の状況としては、市営住宅が3団地9棟177戸あ</p>				

り、平成 30 年度から塩町団地の旧 1 号棟から 3 号棟の 3 棟を集約して、新 1 号棟として建替えております。この団地は、車いす住宅をはじめ、高齢者等に配慮したバリアフリー住宅として整備をしております。

しかしながら、地区内には、サービス付き高齢者向け住宅やセーフティネット住宅は登録されていないのが現状ですので、今後、民間の協力を得ながら、高齢者や障害者等が安心して健康に暮らすことができる住宅の確保に取り組むと同時に、若者や子育て世帯の市外への流出を抑制するために、住宅供給の観点から現在取り組んでいる、「住みよかプロジェクト」の中でも、何か取り組めることがないか検討してまいりたいと考えております。

回答票

伊王島
地区

【担当部課名】

企画財政部
地域コミュニティ推進室

要望内容

【団体名】 NPO 法人ふるさと

【件名】 「ふるさと」に選ばれる地域になるための施策について

【概要】

・これからの時代は、大家族を前提とする「ふるさと」ではなく、多様な生き方を認めて共生する新しい「ふるさと」を再構築することも必要ではないか。

・新しい「ふるさと」として選ばれる地域になるため、子どもから高齢者・障がい者等多様な方々が、ともに支え合い、助け合い、いきいきと暮らせるコミュニティの再構築について考えることはできないか。

・支え合いの形が、誰の目にも明らかなシステムの構築と広告が重要ではないか。

【回答内容】

① 可 能 2 一部可能 3 不可 能 4 調査検討

5 幹 旋 6 その他 ()

地域では、住み慣れた地域で生き生きと暮らしていくために、様々な団体が連携し、支え合いや助け合い、あるいは防災などのまちづくりの活動をされています。地域の皆さんが集まり話し合っ、様々な取り組みにつなげていくことはとても大切であると考えています。

そこで、自治会やPTA、学校、事業所、病院など地域の様々な世代や多様な主体が連携して「地域コミュニティ連絡協議会」を設立し、自分たちの地区の課題解決に向けて取り組んでいただき、市は地域の皆さんの取り組みをしっかりと応援していくという「地域コミュニティを支えるしくみ」をつくってきました。

この「地域コミュニティを支えるしくみ」の趣旨や方向性は、まさしく、ご指摘の「新しいふるさと」づくりの考え方と同じ方向性であると考えてい

ます。

「地域コミュニティを支えるしくみ」によって、各地区で様々な団体の方々が集まり話し合いを進められ、すでに、市内17地区で協議会が設立され、12地区で設立に向けた話し合いが進められています。その中では、これまでできなかったことができるようになったり、新たなつながりが生まれたりといった事例も出てきています。

伊王島地区においても、連合自治会を立ち上げられ、今あるつながりをより強くするために、協議会設立に向けた動きが少しずつ進んでいっています。

今後も、さらにこのしくみの必要性や目指す姿、また、地域コミュニティ連絡協議会で取り組んでいる支え合い、助け合いの事例等をご紹介します。安心して住み続けることができ、選ばれる「ふるさと」づくりに市も皆さんと一緒に取り組んでいきたいと考えています。

回答票

伊王島
地区

【担当部課名】

上下水道局 事業管理課
環境部 環境政策課

要望内容

【団体名】 伊王島中学校区育成協

【件名】 丘町地区の下水道について

【概要】 丘町地区にある市有地の有効活用や売却するために必要不可欠な下水道の整備をお願いしたい。

【回答内容】

- 1 可能 2 一部可能 ③ 不可能 4 調査検討
5 斡旋 6 その他（ ）

丘町地区につきましては、下水道の事業計画区域外であり、現状は、合併処理浄化槽又は汲み取りにより汚水処理を行っております。

汚水処理施設の整備については、下水道、合併処理浄化槽それぞれの汚水処理施設の有する特性、経済性等を総合的に勘案し、地域の実情に応じた効率的かつ適正な整備手法を選定し、汚水処理の早期整備を目指しています。

丘町地区につきましては、下水道の事業計画区域である大明寺地区から距離が約1km離れていることから、汚水処理については下水処理場への配管による集合処理ではなく、合併処理浄化槽による個別の汚水処理を行うこととしています。

なお、個別処理する区域における合併処理浄化槽の設置については補助制度があります。個別の事例については、環境政策課でご相談に応じます。

回答票

伊王島
地区

【担当部課名】

土木部 土木企画課

要望内容

【団体名】 アイランドナガサキ

【件名】 公道での自転車利用について

【概要】 伊王島島内においては、自転車専用道路と同様にタンDEM自転車等二人乗りの自転車が走行できるよう特区として条例を定めていただきたい。

【回答内容】

- 1 可能 2 一部可能 3 不可能 ④ 調査検討
5 斡旋 6 その他（ ）

2つ以上のハンドル、サドル、ペダルを備えた「タンDEM自転車」で走行できる公道は、長崎県内では、自転車専用道路である野母崎サイクリングロードのみとなっています。

このタンDEM自転車の自転車専用道路以外の公道での走行を可能にするには、各都道府県公安委員会が定める規則等に自転車の乗車人員について規定する必要があり、「タンDEM自転車交流協会」の調査によりますと、令和2年4月現在、全国では31府県において、自転車専用道路以外の公道での走行が認められています。

なお、長崎市が独自に調査したところ、現在、「特区」により走行が認められている事例は確認できませんでした。

このように、長崎県内で野母崎サイクリングロード以外の公道でタンDEM自転車の走行を可能にするためには、「長崎県道路交通法施行細則」を改正する必要がありますので、その可能性について長崎県警に確認したところ、「今まで、タンDEM自転車の公道での走行について要望を受けたことがない。仮に具体的な要望があれば、安全性を踏まえながら検討したい。」との

ことでした。

したがいまして、まずは、ご要望の内容を詳しく把握するとともに、全国の事例も調査しながら、県警などの関係者と協議してまいりたいと考えています。